DOJIN
R18
成人向け

こうして時雨を抱くのは
幾度目になるのだろう

彼女は
雨の降る夜に
毎晩体を預けに来る

時雨

そろそろ出すぞ

提督ねぇ

僕はもう準備できてるよ

ほら…早く

…しよう？

あっ！

ふぁっ!!

ていと…くぅ

んっ!!

んっ…
くっ…あっ
はげし…
あ、

提督の…
すごく硬くて…
ひぁっ!!

てい…とくぅ…
ぁっ…
提督…僕…もう…
よし時雨出すぞ！

提督は…
時雨さんの事をどう思っているのですか?

提督…
まだ元気みたいだね…

いいよ
またしよう？

ほら…

提督

電はあの人が怖いのです

…あぁ

…いとく

提督！

ああ大淀か
すまないな…

…随分お疲れのようですが

大丈夫ですか？

あぁ…すまない
少々疲れているようだ

あまり無理は
なさらないでくださいね

提督は一人しか
いらっしゃられないのですから

あっ
提督

…時雨

お前また怪我したのか

ところで提督

うん
ちょっと下手しちゃってね

…今晩

提督の部屋に
行ってもいいかな？

うん
それじゃあ
また後でね

ん？

今度は電か

……提督…

今日は
相談があって待っていたのです

……

……

ぐっ

提督は…

時雨さんの事
どう思っているのですか？

電はあの人が怖いのです

あの人はこのままじゃ
いつかきっと…

…ゆき…かぜ

くっ

全く

キリが…
無いですね

電と時雨を見なかった!!?
雪風!!

あの娘達
部隊からはぐれたちゃった
みたいなの!!

よりによって
このタイミングで?!

ずっと探してるんだけど
見つからなくて!!

……分かりました

こちらも最善を尽くします
…ですが……

…っ！

……最悪のケースも想定していてください

艤装が…

ガシッ

まさかこんな事になるなんて…

失敗したのです…

くっ

……伏せて

あ…あぁ…

良かった

姿が見えなかったから
探してたんだ

どうやら
間に合ったみたいだね

もう大丈夫

僕の前で
絶対に誰も沈ませないから

…絶対に

…駆逐艦

時雨…
行くよ

時雨さん後ろ!!

……

ああ…
あ……

ほら

もう大丈夫だよ

……

…どうしてなのです？

痛くはないのです？

…うん

痛いよ

すごく痛い

だけど
君を助けられた

それだけで
今の僕には十分なんだ

あーっ!!

探したんですよ!!

大丈夫ですか!!

もう…
心配したんですからね!

大丈夫だよ

ごめん
心配させちゃったみたいだね

突然いなくなっちゃうんですから!!

あなたは…
なに言って…

あっ！

いえいえなんでもないです!!
なんでもないです！

そんな事より
ほら

みんな心配してますよ！

提督

すぐ戻りましょう？

このままじゃ

きっとあの人は…

ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ
ひぁぁぁ！
じゅぽ
あっ
ぐちゅ
ね…え…
提督

…もっと激しくしても…

…いいよ……

あっ…
いいっ…よ…

あっ！

ぱん
ぱん
ぱん
じゅぼ
ずぷ
はぁ
はぁ

ふぁ…ひゃうっ！

だめ…っ奥…当たって…

あっ…

ていと…ふかっ…んくっ…

時雨
ちょっとすまんな

え？

ハッ

提督…それ…っ
深くまで当たって…

ガシッ

ガシッ

ビクビク

提督…僕…もう…
よし時雨出すぞ
あぁ♥
びゅく
びく
あぁ♥
じゅぷ

…なぁ時雨

こんなことを聞くのは低得してあるまじきなのかも知れない

ただの私の自己満足なのかもしれない

けれど…一つだけ教えてくれないか？

時雨お前は痛くはないのか？

そんなボロボロになってまで

そんな傷だらけになって

お前は

一体何の為に

……

一体誰の為に戦っているんだ？

同じ事を…
聞くんだね…

…ね
提督…ねぇ

雨…
強くなって来たみたいだね

…え？

ごめん
提督

キミ

少しだけ…

このままでいさせて
欲しいんだ…

ごめん…

…なさい……

僕は…

…本当は

だって
いつだってそう

雨なんて大嫌い

雨はいつだって

大嫌いだ

僕以外の誰も

救ってなんてくれない

……うっく…

その晩、雨が降り止む事はなかつた

本当はさ

すごく痛いんだ

一晩中泣いていてしまいたいくらい

えぐ…

すごく怖いよ

一人きりの雨の日なんて

…ふぅあ…

…ごめ……

ただ後ろを振り向いて
抱きしめてやれば良かったのかもしれない

まるで彼女の涙を全て
覆い隠そうとせんばかりに

その晩
時雨は私の背中に身を預けながら
一晩中泣いた

なさい…

うぁぁぁ…
ぁぁ…

ただそれは

それは艦むす達にとっての
存在の否定でしか無く

いくら指輪で括弧を作ったところで
いくら言葉を投げたかけたところで
次の日には死地に向かわせているんだろう

自己満足でしか無い遊戯

―ただ一つ望むのならば

提督：報告致します

駆逐艦時雨

どうか彼女の最後は―

…轟沈

幸せな記憶である事を

しました…

あとがきみたいな

どうも 「しましますとらいぷ」ってサークルの「ゆきつかつかさ」というものでございまし

こちらの本「ナミダアメ」を手に取っていただき誠にありがとうございます

さて実はこの物語は主人公を３人を主軸とした３話構成だったりします

なら最初から１話とか書けと……

あ、ちなみに今回の物語の主人公は提督です

大方の展開としてはこの物語は「起承転結」の「承転」にあたる部分で

次回予定が時雨視点をメインとした「起承転」になると思います

正直、後味が悪いというか消化不良な部分を次回以降で消化できていければと思っております

あ、ちなみに次回以降は前年例向けになりますので

今回のような拙いエロには御期待ななさぬよう

…エロとかホント久しぶりに描いたのでもう…なんていうかもう……

まぁそんな訳で手短ではございますが

本日は当サークルにお越しいただきまして誠にありがとうございました

しましますとらいぷ

ゆきつかつかさ

PIXIVID 144851
ニコニココミュニティ CO326401
Twitter TSUKASA112

コミックマーケット８８（東京ビックサイト）2015/8/14

印刷所 トム出版様

君は君に笑っていてもらいたいんだ

その日も僕は少しだけ泣いた

何様なんですか？貴方

PRESENT BY

しましますとらいぷ